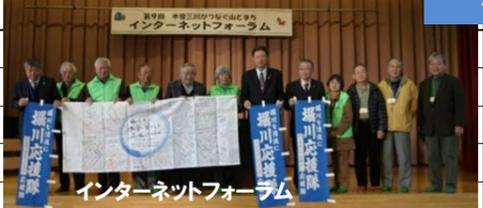


# 堀川1000人調査隊2010の歩み(平成19年度(2007年度)~令和6年度(2024年度))

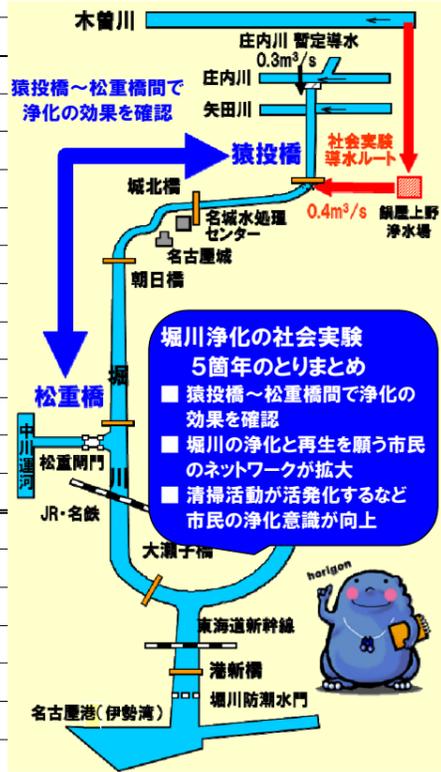
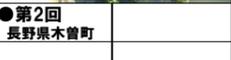
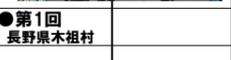
年度	月	主な水質改善施策		堀川1000人調査隊2010の活動(概要)			調査隊の歩み					
		堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度	主な水質改善施策	定点観察隊	主な応援隊・自由研究隊の活動	活動成果の概要						
平成18年度以前 (2006年度以前)		瀬・淵の形成	庄内川からの導水の増量 *庄内川からの暫定導水 平成13年7月~ 最大0.3m³/s	春~初夏 調査	秋~初冬 調査	一斉調査	堀川水質 浄化実験 主催 ・木曾三川と堀川・ 上下流をつなぐ交流 会実行委員会 ・堀川1000人調査 隊2010実行委員 会 主催 ・恵那農業高校 ・名古屋堀川 ライオンズクラブ	活動成果の概要 市民の視点と 感覚で調査 堀川1000人調査隊2010 ホームページ 動画Youtube 定点観測結果 入力ホーム				
		水源の確保(浅層地下水の利用)	辻栄橋上流0.01m³/s(H16)									
		覆砂等による浄化実験	木津根橋上流0.01m³/s(H17)									
		新堀川の悪臭対策(ヘドロ浚渫・覆砂)										
		中川運河の水循環促進(堀川へ放流)										
		名城水処理センター										
		雨水滞水池										
		守山水処理センター										
		堀留水処理センター										
		伝馬町水処理センター										
		千年水処理センター										
		露橋水処理センター										
平成19年度 (2007年度)	4月		4月22日:木曾川からの導水開始	●22日調査隊結成				平成19年4月22日発足時:165隊、2,262人				
	5月			第1ステージ				令和7年3月22日現在:2,760隊、53,727人				
	6月											
	7月											
	8月											
	9月				●第1回調査隊会議							
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月				●第2回調査隊会議							
	3月											
平成20年度 (2008年度)	4月		清水わくわく水0.0005m³/s									
	5月			第3ステージ								
	6月											
	7月											
	8月											
	9月				●第3回調査隊会議							
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月				●第4回調査隊会議							
	3月											
平成21年度 (2009年度)	4月			第5ステージ								
	5月											
	6月											
	7月											
	8月											
	9月				●第5回調査隊会議							
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月				●第6回調査隊会議							
	3月											
平成22年度 (2010年度)	4月			第7ステージ								
	5月											
	6月											
	7月											
	8月											
	9月				●第7回調査隊会議							
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月				●第8回調査隊会議							
	3月											
平成23年度 (2011年度)	4月			第9ステージ								
	5月											
	6月											
	7月											
	8月											
	9月				●第9回調査隊会議							
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月				●第10回調査隊会議							
	3月											

木曾川からの導水の効果を  
市民の視点と感覚で調査  
■市民の視点と感覚  
・汚れ・透明感・色  
・あわ・におい・ごみ  
・生き物

平成19年4月22日発足時:165隊、2,262人  
令和7年3月22日現在:2,760隊、53,727人



■木曾川からの  
導水中の変化  
を確認



堀川浄化の社会実験  
5箇年のとりまとめ  
■猿投橋~松重橋間で浄化の  
効果を確認  
■堀川の浄化と再生を願う市民  
のネットワークが拡大  
■清掃活動が活発化するなど  
市民の浄化意識が向上

■木曾川からの  
導水停止後の  
変化を確認

木曾川からの導水による  
浄化の効果のまとめ

項目	導水中と 導水停止後の 比較	調査区間				
		猿投橋 ~松重橋	松重橋 ~朝日橋	朝日橋 ~城北橋	城北橋 ~猿投橋	猿投橋 ~松重橋
水の汚れ の印象	導水中の改善	-	○	○	○	○
透明度	導水中の改善	-	○	○	○	○
COD	導水中の改善	-	○	○	○	○
あわの 発生状況	導水中の改善	-	○	○	○	○
においの 発生状況	導水中の改善	-	○	○	○	○

注) ○: 導水中に改善が確認された区間  
●: 導水停止後に悪化したことにより、導水中の改善が確認された区間

# 堀川1000人調査隊2010の歩み(平成19年度(2007年度)~令和6年度(2024年度))

年度	月	主な水質改善施策		堀川1000人調査隊2010の活動(概要)				
		堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度	主な水質改善施策	定点観察隊	主な応援隊・自由研究隊の活動	活動成果の概要		
平成24年度 (2012年度)	4月	瀬・淵の形成	庄内川からの導水の増量 *庄内川からの暫定導水 平成13年7月~最大0.3m <sup>3</sup> /s 水源の確保(浅層地下水の利用) 覆砂等による浄化実験 新堀川の悪臭対策(ヘドロ浚渫・覆砂) 中川運河の水循環促進(堀川へ放流) 名城水処理センター 雨水滞水池 守山水処理センター 堀留水処理センター 伝馬町水処理センター 千年水処理センター 露橋水処理センター 高度処理 簡易高度化 堀川右岸 堀川左岸 下水再生の利用 簡易高度化 簡易高度化 簡易高度化 高度処理	春~初夏調査	秋~初冬調査	一斉調査	木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会 主催・木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会実行委員会 堀川1000人調査隊2010実行委員会 主催・恵那農業高校 名古屋堀川ライオンズクラブ 堀川水質浄化実験 堀川1000人調査隊2010 ホームページ 動画Youtube 定点観測結果入力ホーム 活動成果の概要 市民の視点と感覚で調査 調査隊の歩み	
	5月	黒川2号橋下流		第11ステージ	第1回 5月	●空心病による実験		
	6月			●金環日食の結果とこれまでの結果から、赤潮と青潮の発生メカニズムと堀川で貧酸素水塊が形成される時の状況についてその一端を紐解く	●第11回調査隊会議	●第12ステージ		
	7月			●貧酸素化とコシロ・ハゼ等の死魚の発生メカニズムを仮説(大湖)		●第12回調査隊会議		
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
平成25年度 (2013年度)	4月	瀬古橋上流0.01m <sup>3</sup> /s	第13ステージ	第3回 5月	●空心病による実験			
	5月		●年間の変化(月別値)の整理し、“春~秋”に“水の汚れの印象”、“透明度”、“COD”が良くないことを確認するとともに、堀川の現状と汚れのメカニズムについて考察	●第13回調査隊会議				
	6月		●新堀川に広がる調査の様子と結果の整理					
	7月							
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
平成26年度 (2014年度)	4月	猿投橋上流0.01m <sup>3</sup> /s	第15ステージ	第4回 10月	●空心病による実験			
	5月		●気象条件や潮の干満による特異な変化(赤潮、白濁、黒濁)を記録・報告し、その現象の発生メカニズムの一端を紐解く	●第15回調査隊会議				
	6月		●白濁が発生する過程(一例)を整理					
	7月		●堀川の水の色を三原色(ヘドロ、青潮、赤潮)で再現					
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
平成27年度 (2015年度)	4月	志賀橋上流0.01m <sup>3</sup> /s	第17ステージ	第5回 4月	●空心病・サンパチエンスによる実験			
	5月		●“春~初夏”の水質の変化を整理	●第17回調査隊会議				
	6月		●導水停止後の月別の変化を整理					
	7月		●春の大湖一斉調査の結果報告(雨の日の堀川の様子について整理)					
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
平成28年度 (2016年度)	4月	中土戸橋上流0.01m <sup>3</sup> /s	第19ステージ	第6回 4月	●空心病による実験			
	5月		●朝日橋上流の水の汚れの印象は、前日に降雨があると改善、朝日橋下流は前日に降雨があると悪化	●第19回調査隊会議				
	6月		●貧酸素化とコシロ・ハゼ等の死魚の発生メカニズムを仮説(潮位の変化が少ない小潮・長潮・若潮時)					
	7月							
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							

### 市民と行政のステップアップ型パートナーシップ

「名古屋の海なる川 堀川」の再生をめざして！  
市民(民間学芸)と行政がいっしょに歩む堀川浄化

ACTI(改善) 市民の視点と感覚で調査  
CHECK(評価) 市民の視点と感覚で調査

STEP UP  
市民の視点と感覚で調査

市民の視点と感覚で調査  
市民の視点と感覚で調査

市民の視点と感覚で調査  
市民の視点と感覚で調査

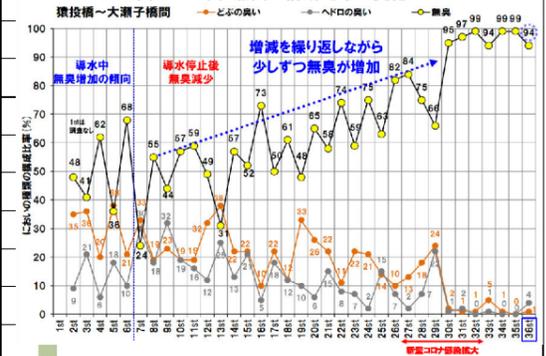
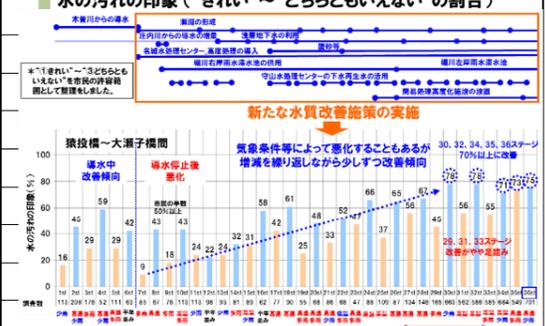
### 新たな水質改善施策による効果を確認

水質改善施策の実施による効果を確認

水質改善施策の実施による効果を確認

水質改善施策の実施による効果を確認

水質改善施策の実施による効果を確認





# 堀川1000人調査隊2010の歩み(平成19年度(2007年度)~令和6年度(2024年度))

年度	月	主な水質改善施策		堀川1000人調査隊2010の活動(概要)		
		堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度	主な水質改善施策	定点観測隊	主な応援隊・自由研究隊の活動	活動成果の概要
令和4年度 (2022年度)	4月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度	旭橋上流0.002m <sup>3</sup> /s	春~初夏調査	木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会	<b>活動成果の概要</b> 市民の視点と感覚で調査 堀川1000人調査隊2010 ホームページ 動画Youtube 定点観測結果入力ホーム
	5月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		秋~初冬調査	●第16回 長野県南木曾町	
	6月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		第31ステージ	●空心病による実験	
	7月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		●第31回調査隊会議		
令和5年度 (2023年度)	4月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		春~初夏調査	●第17回 名古屋市	<b>令和5年(2023年)2月</b> 木曾川水系連絡導水路 名古屋市審議へ 撤退から14年方針転換 ■ 新たな用途で建設(提案) ■ 良質な飲料水の安定供給 ■ 治水対策 ■ 市内を流れる堀川への恒久的な導水による水質改善
	5月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		秋~初冬調査	●空心病による実験	
	6月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		第32ステージ		
	7月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		●第32回調査隊会議		
令和6年度 (2024年度)	4月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		春~初夏調査	●第18回 長野県王滝村	<b>34ステージの検証で明らかになってきた</b> 新たな導水に期待できる効果 ■ 朝日橋~猿投橋下流同の更なる改善 ■ 導水の増加により流す力がさらに増加 ⇒水の滞留が減少 ⇒潮の先端部分を下流に押し下げる ⇒浮遊ごみの集積・滞留が減少 ■ きれいな水で水域を潤し、希釈する効果がさらに拡大 ⇒透明感がさらに改善 ■ 導水の増加により水に含まれる酸素量が増加 ■ 朝日橋下流の改善にも期待(導水の効果が波及) ・ヘドロの生成、巻き上げの減少など
	5月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		秋~初冬調査	●空心病による実験	
	6月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		第33ステージ		
	7月	堀川浄化の社会実験:平成19年度~23年度		●第33回調査隊会議		

調査結果の報告数  
36ステージ終了時  
**18,458件**  
堀川 : 16,418件  
新堀川 : 2,040件

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会  
Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラム  
認証番号AA-CUL00001  
堀川1000人調査隊2010  
調査・観測活動及び調査報告

「名古屋の母なる川 堀川」の再生をめざす市民の願い  
私たちは更なる改善に期待をしています。

### 今後の対策の方向性

行政による水質改善施策の検討・実施・継続

- ・有機物の流入を削減  
(三の丸地区における分流化などの合流改善)
- ・川底の貧酸素化の改善  
(河川整備にあわせたヘドロ除去など)
- ・上流からの導水の水質改善と新たな水源の確保
- ・船の定期運航の実現、運航区間の拡大、運航頻度の増加
- ・川幅が広がった区間の改善  
(田橋橋~黒川橋間など)

木曾川からの導水  
愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会  
おもてなしの心

### 木曾川からの導水に期待する効果

- ① 希釈による有機物濃度の低下  
→ 貧酸素化の改善
- ② 水中への直接的な酸素の供給  
→ 貧酸素化の改善
- ③ 流速の増加  
→ 浮遊物(有機物含む)の局所的な沈降・堆積の抑制
- ④ “水温の低下”及び“上昇の抑制”  
→ 貧酸素化の改善  
(飽和酸素濃度が上昇+生き物(硫酸還元細菌などを含む)の活性低下=酸素消費量及び硫化物の生成が減少)  
→ 南方系の外来魚種の生息域の減少  
→ ヒートアイランド現象の緩和  
(生活・親水環境の改善)
- ⑤ 浮遊ごみの滞留の減少  
→ ごみの確認頻度の減少

### (仮説) 木曾川からの導水による市民の印象の改善スパイラル

